

News Release

令和5年10月20日

富山県における燃料水素・アンモニアサプライチェーン構築に向けた連携協力協定の締結について

国において「2050年カーボンニュートラル」を宣言し、経済産業省を中心に「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」が策定され、成長が期待される重要分野の一つとして「水素・燃料アンモニア」が掲げられています。

富山県における地域経済の活性化と産業の脱炭素化を推進するため、企業活動のカーボンニュートラルに必要な燃料水素・アンモニアのサプライチェーン構築を目指し、産学官（富山県、富山大学、富山県立大学、（一社）富山水素エネルギー促進協議会）による連携協力協定を締結しましたので、ご案内します。

1 協定締結式

- (1)日 時 令和5年10月20日(金) 11:40~12:00
(2)場 所 富山県庁3階特別室
(3)出席者 富山県 新田 八朗 知事
富山大学 齋藤 滋 学長
富山県立大学 下山 勲 学長
富山水素エネルギー促進協議会 山口 昌広 代表理事

2 連携協力協定の概要

(1)目的

燃料水素・アンモニアの導入促進により、富山県におけるカーボンニュートラルに向けた産業界の取り組みや新エネルギー導入における課題解決に向けた活動を推進し、産業の強靱化、持続可能性を高め、燃料水素・アンモニアサプライチェーンの構築を目指す。

(2)連携協力事項

- ① 燃料水素・アンモニアのエネルギー導入に関する相談体制構築による産業支援及び需要創出
- ② 燃料水素・アンモニアサプライチェーン構築の推進
- ③ 各大学・研究機関による共同研究、新技術評価、実証協力
- ④ 地域企業の研究開発ニーズ等の情報交換及び連携支援
- ⑤ 企業のGX、DX推進のためのデータサイエンス活用

(3)本学の役割

エネルギーミックスによるエネルギーマネジメントの推進や企業のGX・DXの支援、新技術開発をはじめ循環型社会の形成を担う提案力と実行力のある技術者の育成などを行う。

(4)有効期間

協定締結日から令和6年10月31日（1年間自動更新条項あり）

